

結果

- (1)ピクノジェノール・アルギニン含有食品の、日本人ED患者におけるED改善効果を確認
- (2)同試験において、ED患者の血圧降下、肝機能改善効果も併せて確認



考察

今後、被験者数または投与量の増加による実験によってさらに明確化され、摂取による日本人ED改善の可能性が増大することが期待できる。さらに血圧降下と肝機能改善効果が確認されたことで、ED患者に多く併発される高血圧、肝機能低下の改善に期待ができる。

ピクノジェノール・アルギニン含有食品の日本人ED患者(軽度～中等度)における臨床試験

●実験方法

日本人の軽度～中等度ED患者24名を無作為に等分し、ピクノジェノール・アルギニン含有食品あるいはプラセボ*食品を8週間服用させ、その後でIIEF-5および血液生化学検査値等と比較した。(1名脱落、解析対象は23名)

*偽薬、擬薬。薬効や安全性などのデータを比較するために用いられる物質。色や形は似ていながらも、有効成分を含んでいない。

被験者: グループ(1):ピクノジェノール・アルギニン含有食品群12名(51.4±9.0歳)
 グループ(2):プラセボ 食品群11名(50.6±7.5歳)

被験食品: ピクノジェノール・アルギニン含有食品・・・6粒/日
 (1粒あたりピクノジェノール10.0mg、アルギニン115.0 mg含有)
 プラセボ・・・6粒/日

摂取期間: 8週間

試験監修医: 帝京大学医学部附属病院 泌尿器科 主任教授 堀江 重郎

評価項目: IIEF-5(国際勃起機能スコア)

IIEF-5(国際勃起機能スコア)とは:

国際的にEDの診断に用いられる問診表で、ED用医薬品の開発の際にも使用されている。

IIEF-5(国際勃起機能スコア) 最近6か月で

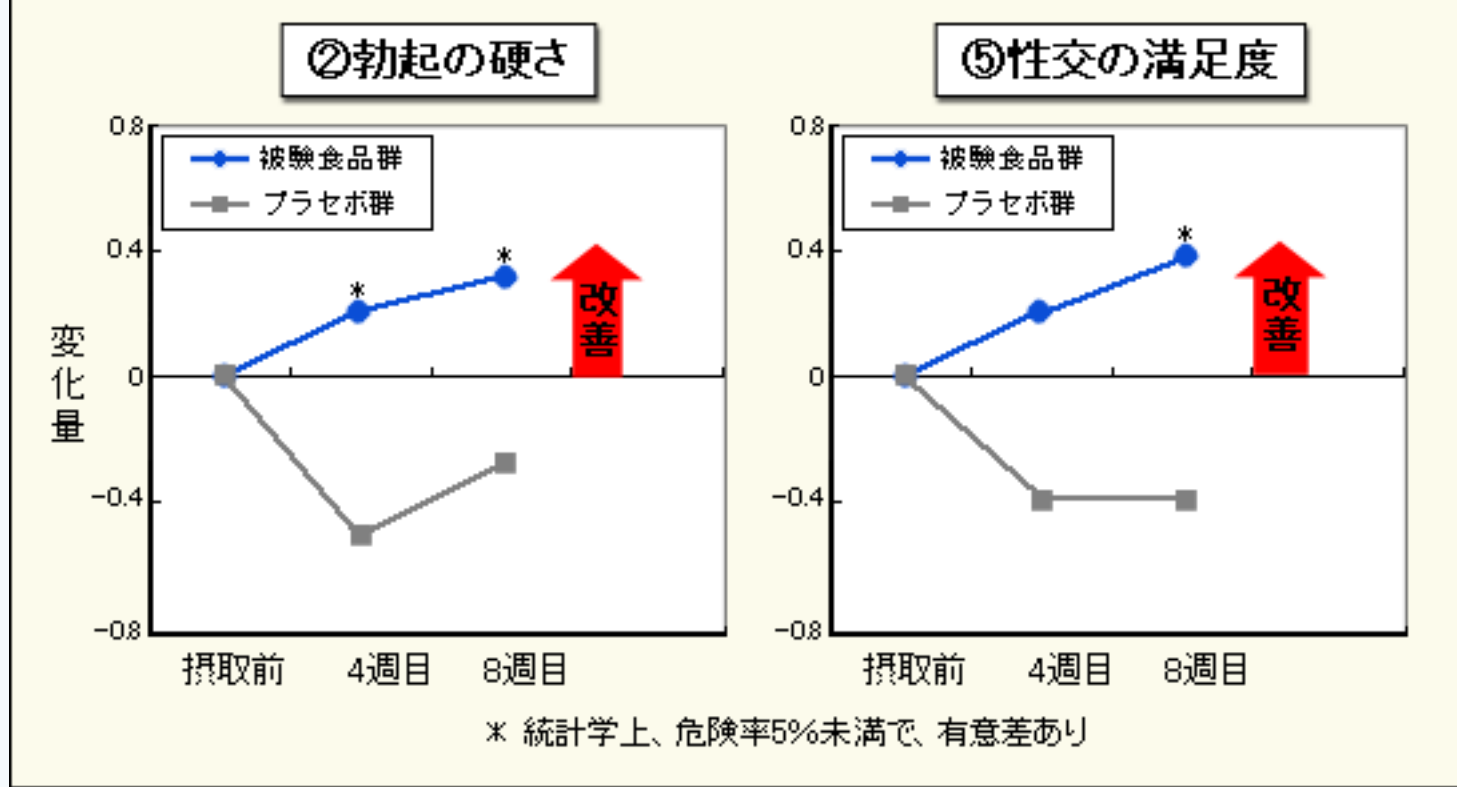
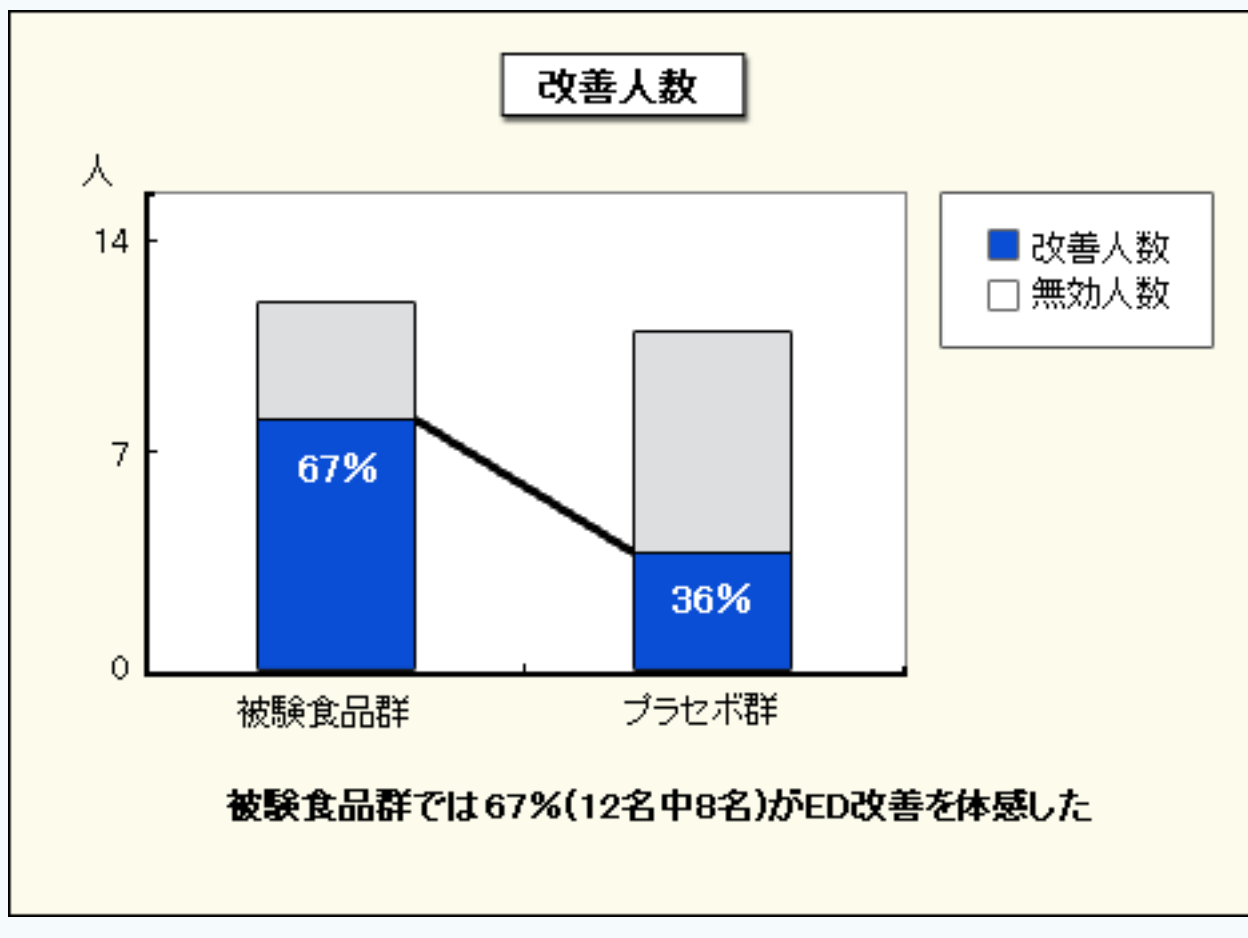
対応症状	質問項目	スコア	全くなし 0	非常に低い 1	低い 2	普通 3	高い 4	非常に高い 5
勃起の自信	(1) 勃起を維持する自信の程度はどれくらいありましたか。	性的刺激一度もなし	0	1	2	3	4	5
勃起の硬さ	(2) 性的刺激による勃起の場合、何回挿入可能な勃起の硬さになりましたか。	性的刺激一度もなし	0	1	2	3	4	5
勃起の維持	(3) 性交中、挿入後何回勃起を維持することが出来ましたか。	性交の試み一度もなし	0	1	2	3	4	5
勃起の困難	(4) 性交中に、性交を終了するまで勃起を維持するのはどれくらい困難でしたか。	性交の試み一度もなし	0	1	2	3	4	5
性交の満足度	(5) 性交を試みた時に、何回満足に性交できましたか。	性交の試み一度もなし	0	1	2	3	4	5



(1)～(5)の合計点数で診断⇒正常(25～22点)、軽度(21～17点)、中等～軽度(16～12点)、中等度(11～8点)、重度(7点以下)

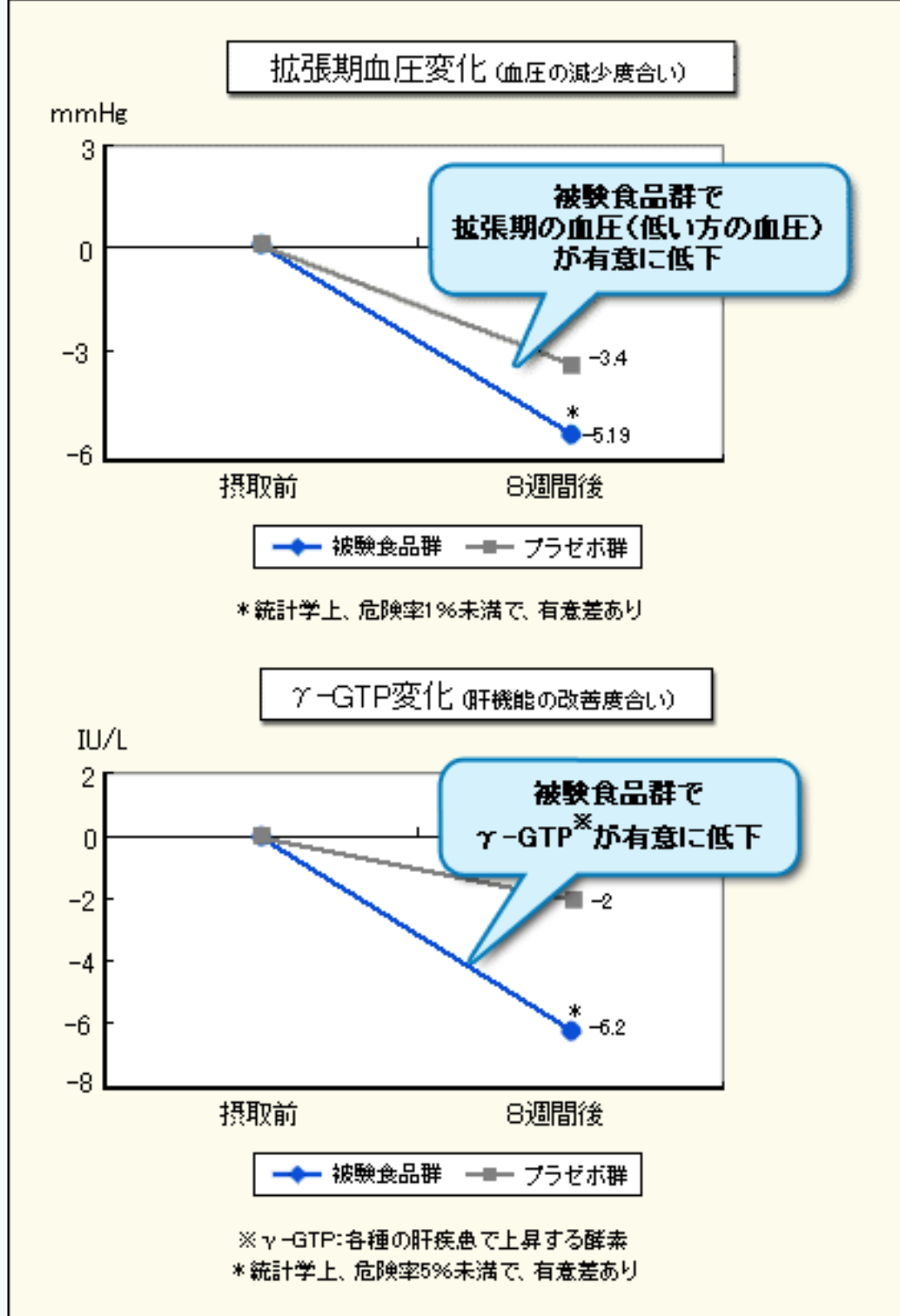
結果(1)

実験前後のIIEF-5において、ピクノジェノール・アルギニン含有食品群はプラセボ群と比較して、ED症状の改善人数が多く、ED改善が確認された。また「勃起の硬さ」「性交の満足度」のスコアに関しては有意に改善しており、EDの諸症状改善が確認された。



結果(2)

ピクノジェノール・アルギニン含有食品の摂取で、血圧数値、肝機能において有意に改善がみられた。また、コレステロールおよび血糖値についても改善傾向を示した。



ピクノジェノールおよびアルギニンの血流増加作用のしくみ

- ピクノジェノールがeNOS(一酸化窒素合成酵素)を活性化することで、アルギニンとO₂(酸素)からのNO (一酸化窒素)産出をより促進する。
- 産出されたNOは、血管を流れる血液をサラサラにして血流をスムーズにし、また血管の筋肉(平滑筋)を弛緩(やわらかく)させるcGMP(血管弛緩物質)の産出を促進する。

上記の作用によって血流が増加するため、末梢血管障害が原因のひとつとされるEDに効果を発揮すると考えられる。

